MASPRO

屋外(内)用 ブースター (家庭用)

取扱説明書

VU BOOSTER
増幅チャンネル FM・ch1～62

VUB32

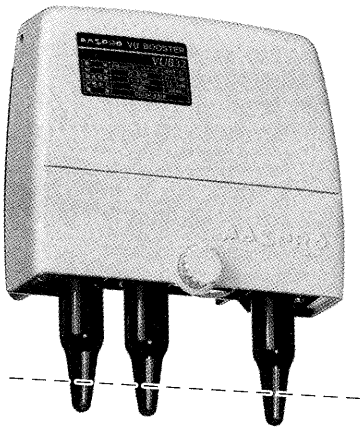
UHF BOOSTER
増幅チャンネル ch13～62 (VHFミキサー内蔵)

UB32

DC15V方式

32dB型

電波が弱くザラザラした画面のときに使用すると，きれいな画像で受信できます。



VUB32
増幅部

75Ωケーブルの太さに合わせて切ってください。

端子カバーは後ろへ押して開けてください。

VUB32
電源部

MASter of PROduction
生産の熟者

高性能・高信頼

余裕のある高出力

電波が強い地域で出力レベルの低いブースターを使用すると，ビート縞や，ワイパー現象が発生します。(p.4参照)
VHFは100dBμ，UHFは104dBμの出力レベルが得られますから，電波の比較的強い地域で使用しても，障害のないきれいな画像で受信できます。

過電流保護回路

増幅部と電源部の間でショートなどの異常が発生しても，過電流阻止半導体の働きによって，電源部を保護します。

優れた機能

VU混合・別入力両用

VU混合入力・別入力に切換えできますから，ミキサー内蔵アンテナやVUミキサーを使用したVU混合入力の場合でも使用できます。

FMカットスイッチ (VUB32)

FM放送帯域をスイッチで「増幅」または「カット」することができますから，FM電波の強い地域でもテレビの受信障害はありません。

フタはネジ止め式

増幅部のフタはネジ止め式ですから，しっかりと固定できます。

●ご使用の前に，この「取扱説明書」と「安全上のご注意」「ブースター使用上のご注意」をよくお読みください。
●お読みになったあとは，保存してください。

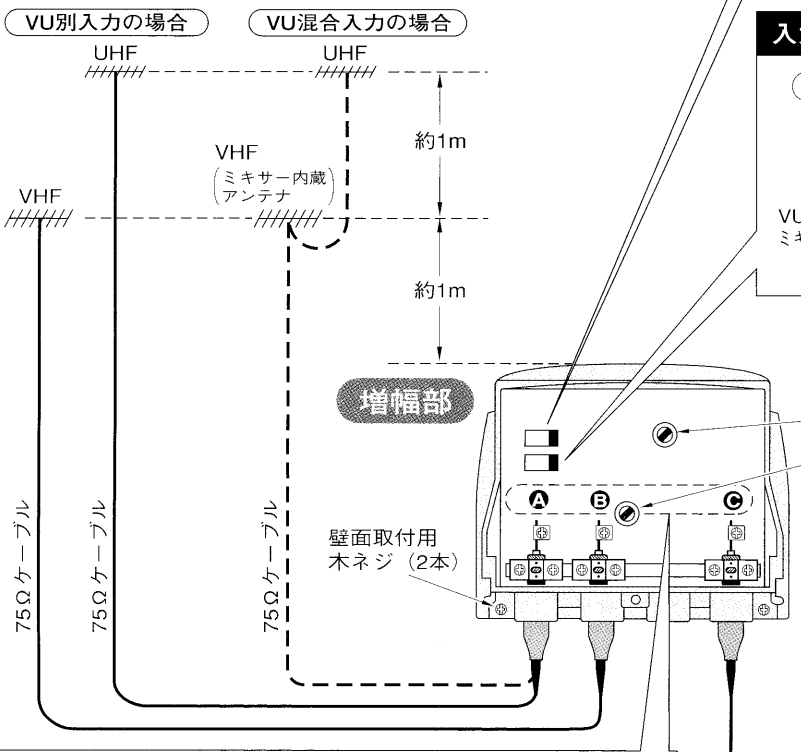
マルチメディアの
MASPRO
＝マスプロ電工＝

各アンテナからのケーブルとブースター（増幅部）は，間違えないように，正しく接続してください。

ご注意

各アンテナが接近しすぎると，アンテナの性能が劣化します。
また，アンテナとブースター（増幅部）が接近しすぎると，ブースターが発振して，受信障害になることがあります。

VUB32



Ⓐ **VU混合入力端子**または**UHFの入力端子**（VU混合入力のケーブルまたはUHFアンテナからのケーブルを接続します）

Ⓑ **VHF入力端子**（VHFアンテナからのケーブルを接続します）VU混合入力のときは使用しませんから，付属の防水キャップ（小）を取付けてください。

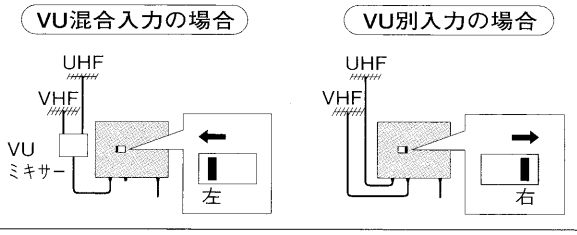
Ⓒ **出力端子**（電源部の入力端子Ⓓからのケーブルを接続します）

FMカットスイッチ

（出荷時はFM増幅になっています）

入力切換スイッチ

（出荷時はVU別入力になっています）



利得調整

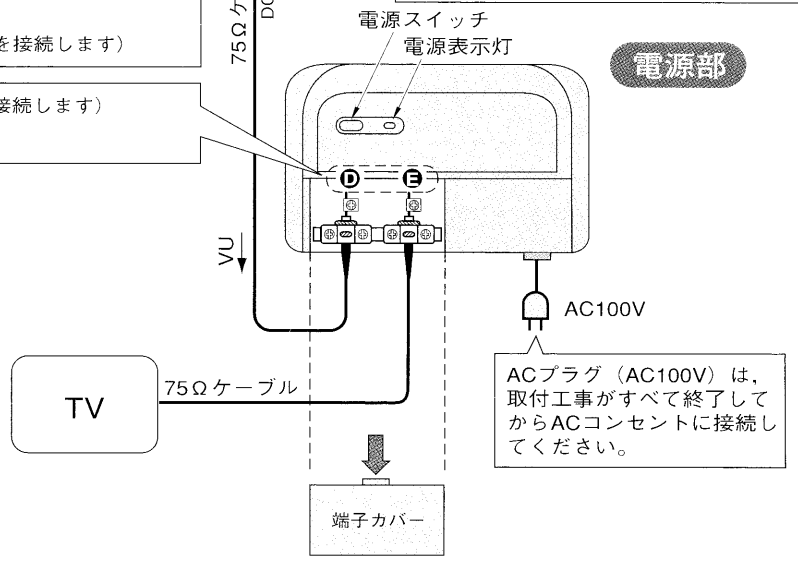
VHF：FM・ch1～12
UHF：ch13～62

利得のツマミをMAX.（右）へいっぱいに回した状態）にして，画面にワイパー現象（画面を横に拭いていくような太い帯模様p.4参照）が出るときは，症状が消えるまで，ツマミを（左）へゆっくり回してください。
（出荷時はMAX.になっています）

ご注意

利得を調整するときは，調整用ドライバーを使用してください。無理に回すとこわれることがあります。

増幅部からTVまでは75Ωケーブル（**5CFVA**）で100m位が限度です。



Ⓓ 入力端子（増幅部の出力端子Ⓒへのケーブルを接続します）

Ⓔ TV出力端子（TVへのケーブルを接続します）

ACプラグ（AC100V）は，取付工事がすべて終了してからACコンセントに接続してください。

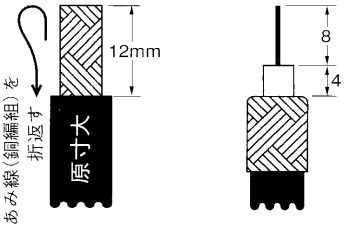
ケーブルの加工方法

（**5C**または**4C**）

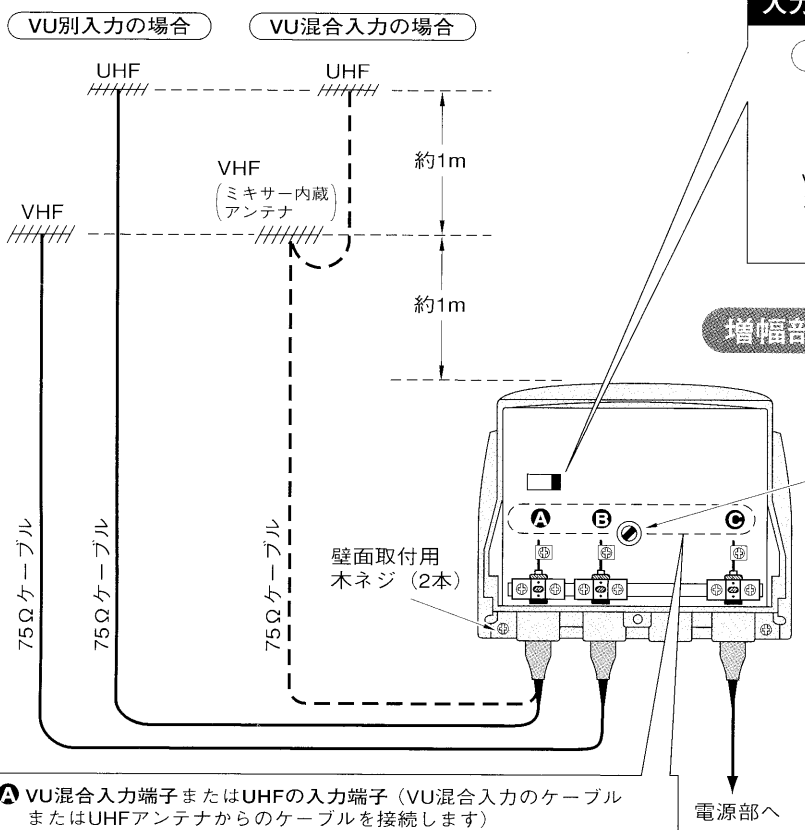
（**3C**は芯線が細く，損失も多いため，**5C**または**4C**を使用してください）

Ⓐ，Ⓑ，Ⓒの各端子に接続するケーブルは，加工する前に付属の防水キャップ（大）に通してから，先端を図の寸法に加工してください。

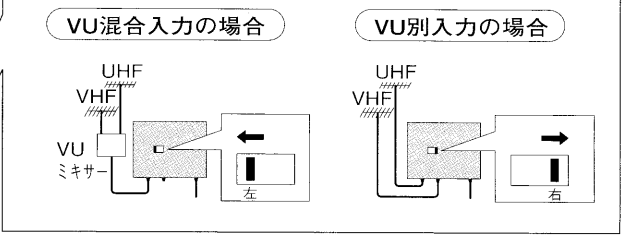
（ブースターに接続するケーブルの先端は，すべて図の寸法に加工してください。）



UB32



入力切換スイッチ（出荷時はVU別入力になっています）



利得調整

UHF：ch13～62

利得のツマミをMAX.（右）へいっぱいに回した状態にして，画面にワイパー現象（画面を横に拭いていくような太い帯模様p.4参照）が出るときは，症状が消えるまで，ツマミを（左）へゆっくり回してください。
（出荷時はMAX.になっています）

ご注意

利得を調整するときは，調整用ドライバーを使用してください。無理に回すとこわれることがあります。

Ⓐ **VU混合入力端子**または**UHFの入力端子**（VU混合入力のケーブルまたはUHFアンテナからのケーブルを接続します）

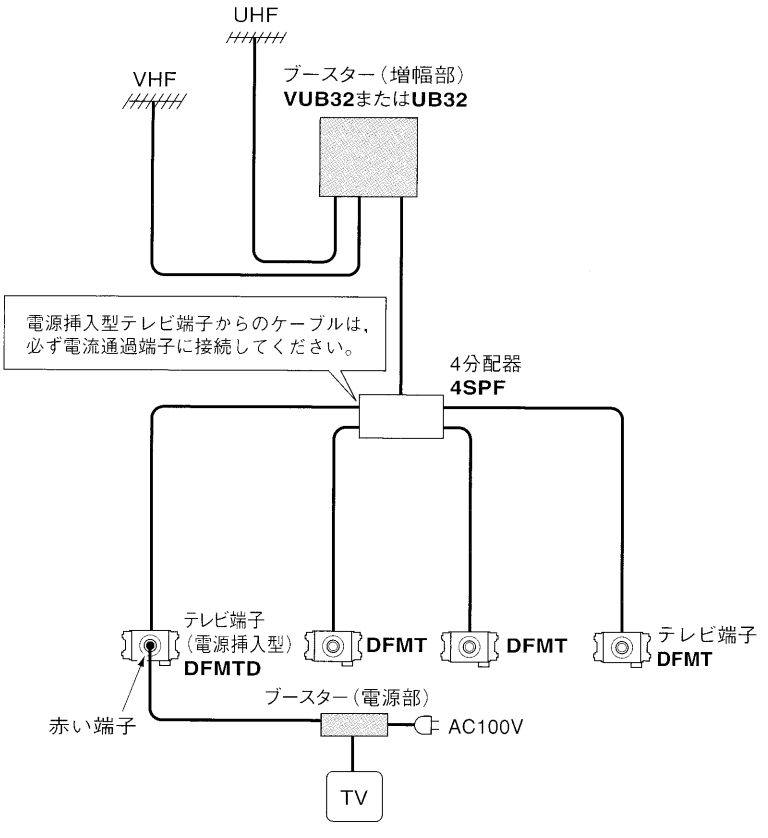
Ⓑ **VHF入力端子**（VHFアンテナからのケーブルを接続します）VU混合入力のときは使用しませんから，付属の防水キャップ（小）を取付けてください。

Ⓒ **出力端子**（電源部の入力端子へのケーブルを接続します）

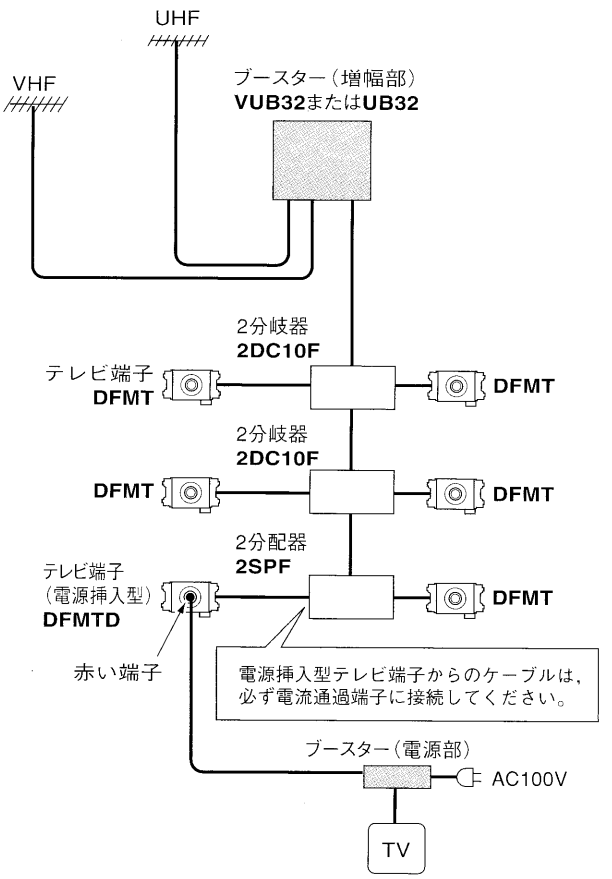
電源部とTVの接続は，p.2の 電源部 をご覧ください。

使用例

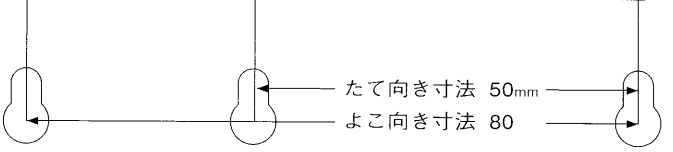
4端子の場合



6端子の場合



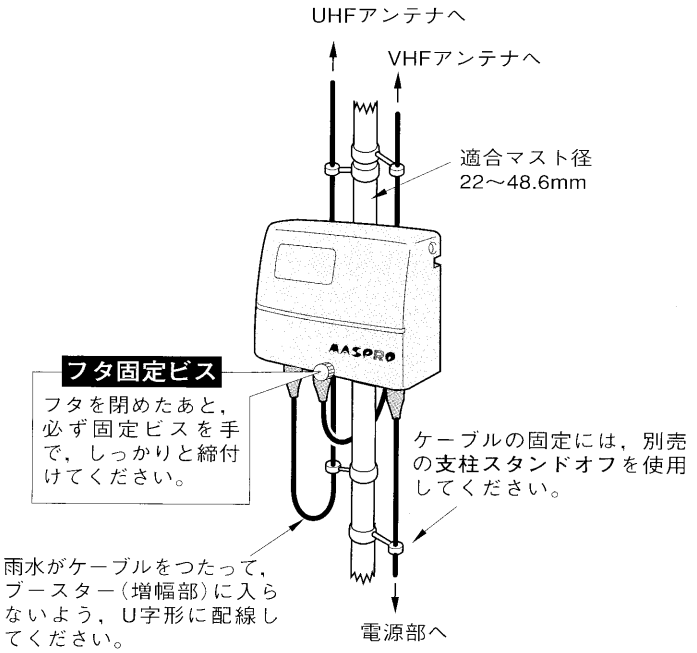
取付方法



電源部の壁面取付寸法(原寸)

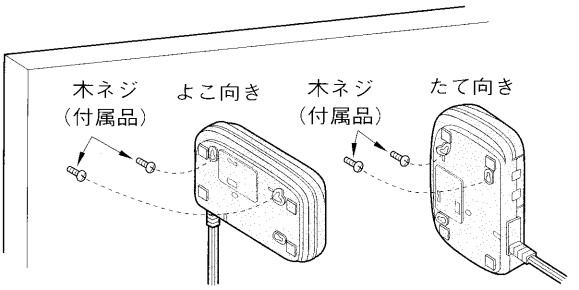
増幅部

ケースのフタを完全に閉めてください。



● 板壁面にも取付けることができます。

電源部

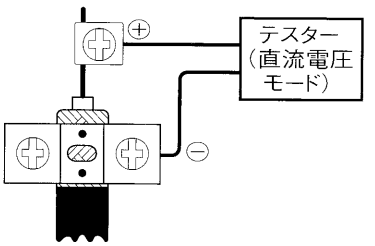


ご注意

- 電源部は，温度上昇を防ぐため，風通しのよい場所に設置してください。
- 長期間ご使用にならないときは，ACプラグをACコンセントから抜いてください。

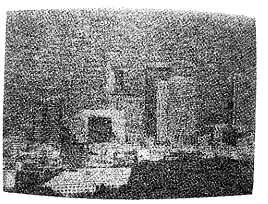
よい画質が得られないときは

- 各アンテナからのケーブルが，それぞれの入力端子に正しく接続してあることを，もう一度確認してください。
- 電源部の電源表示灯は点灯していますか。
  入力端子 Ⓓ 側がショートしていると過電流保護回路が作動して，電源表示灯が消えます。電源スイッチを「OFF」にして，原因を取除いてから，再度「ON」にしてください。
- ブースターに，DC14～15Vが供給されているか確認してください。増幅部の出力端子 Ⓒ にテスターを接続して確認してください。



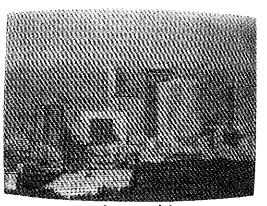
画像が出ない場合，著しくスノーノイズが出る場合

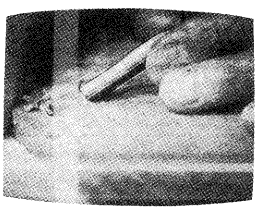
- 増幅部の出力端子 Ⓒ にDC14～15Vがきているか確認してください。
- ケーブルが断線またはショートしていませんか。
- 入力切換スイッチが正しく操作してありますか。


スノーノイズ

画面にビート縞・ワイパー現象が出る場合

- 他の電波と混信していないか確認してください。（外部からの混信電波を止める以外に方法はありません）画質が最も良くなるように，各アンテナの方向を調整してください。
- ch1～3の画面に障害が出るときは，FMカットスイッチをFMカット側「左」へ切換えてください。（**VUB32**）
- VHF入力レベルが69～79dBμの場合，利得調整ツマミを(左)へゆっくり回してください。
- VHF，UHFの入力レベルが79dBμ以上の場合，障害のある帯域（VHFまたはUHF）の入力端子に，別売の減衰器**ATT6, 10, 15, 20KFD**を接続してレベルを下げてください。


ビート縞


ワイパー現象

規格表 Specifications（電気的特性は，JEITA表示法による）

VUB32

増幅部

MASPRO

項目 Items	規格		
伝送周波数帯域 Frequency Range	76～108MHz（FM・ch1～3）	170～222MHz（ch4～12）	470～770MHz（ch13～62）
利得 Gain	25～31dB		29～35dB
利得偏差（P/V） Gain Response Flatness	3dB以内		5dB以内
利得調整範囲 Gain Control Range	0～⊖10dB以上（連続可変）		0～⊖10dB以上（連続可変）
雑音指数 Noise Figure	2.5～4.5dB		1.5～4dB
実用入力レベル Operating Input Level	36.5（がまん限）～69dBμ（※79dBμ）		36（がまん限）～69dBμ（※79dBμ）
定格出力レベル Rated Output Level	100dBμ		104dBμ
混変調／相互変調 Cross Modulation/Intermodulation	⊖46dB以下／⊖53dB以下		⊖46dB以下／—
VSWR	3以下		
入・出力インピーダンス Input/Output Impedance	75Ω		
電源 Power Requirements	DC15V 0.07A		
使用温度範囲 Temperature Range	⊖20～⊕40℃		
外観寸法 Dimensions	130(H)×148(W)×64(D)mm		
質量（重量） Weight	約300g		
シンボル Symbol	▷		

電源部

MASPRO

項目 Items	規格
1次電圧 Primary Voltage	AC100V 50・60Hz
消費電力 Power Consumption	3W
直流出力電圧・電流 DC Output Voltage/Current	DC15V 0.07A
入・出力インピーダンス Input/Output Impedance	75Ω
挿入損失 Insertion Loss	0.2～2dB
使用温度範囲 Temperature Range	0～⊕40℃
外観寸法 Dimensions	39(H)x149(W)x98(D)mm
質量（重量） Weight	約330g

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

実用入力レベルの最小値(がまん限)は，スノーノイズを完全に除去できませんが，実用になる限界です。
※ 利得を最小(利得を(左)へいっぱいに回した状態)にしたときの，最大の実用入力レベルです。

付属品

防水キャップ（大）……3個
〃　（小，VHF入力端子用）…1個
木ネジ（電源部壁面取付用）……2本

UB32

増幅部

MASPRO

項目 Items	規格	
伝送周波数帯域 Frequency Range	470～770MHz（ch13～62）	76～222MHz（FM・ch1～12）
利得 Gain	29～35dB	—
通過帯域損失 Insertion Loss	—	0.5～1.5dB
利得偏差（P/V） Gain Response Flatness	5dB以内	—
利得調整範囲 Gain Control Range	0～⊖10dB以上（連続可変）	
雑音指数 Noise Figure	1.5～4dB	
実用入力レベル Operating Input Level	36（がまん限）～69dBμ（※79dBμ）	
定格出力レベル Rated Output Level	104dBμ	
混変調 Cross Modulation	⊖46dB以下	
VSWR	3以下	
入・出力インピーダンス Input/Output Impedance	75Ω	
電源 Power Requirements	DC15V 0.04A	
使用温度範囲 Temperature Range	⊖20～⊕40℃	
外観寸法 Dimensions	130(H)×148(W)×64(D)mm	
質量（重量） Weight	約290g	
シンボル Symbol	▷	

電源部

MASPRO

項目 Items	規格
1次電圧 Primary Voltage	AC100V 50・60Hz
消費電力 Power Consumption	2.1W
直流出力電圧・電流 DC Output Voltage/Current	DC15V 0.04A
入・出力インピーダンス Input/Output Impedance	75Ω
挿入損失 Insertion Loss	0.2～2dB
使用温度範囲 Temperature Range	0～⊕40℃
外観寸法 Dimensions	39(H)x149(W)x98(D)mm
質量（重量） Weight	約330g

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

実用入力レベルの最小値(がまん限)は，スノーノイズを完全に除去できませんが，実用になる限界です。
※ 利得を最小(利得を(左)へいっぱいに回した状態)にしたときの，最大の実用入力レベルです。

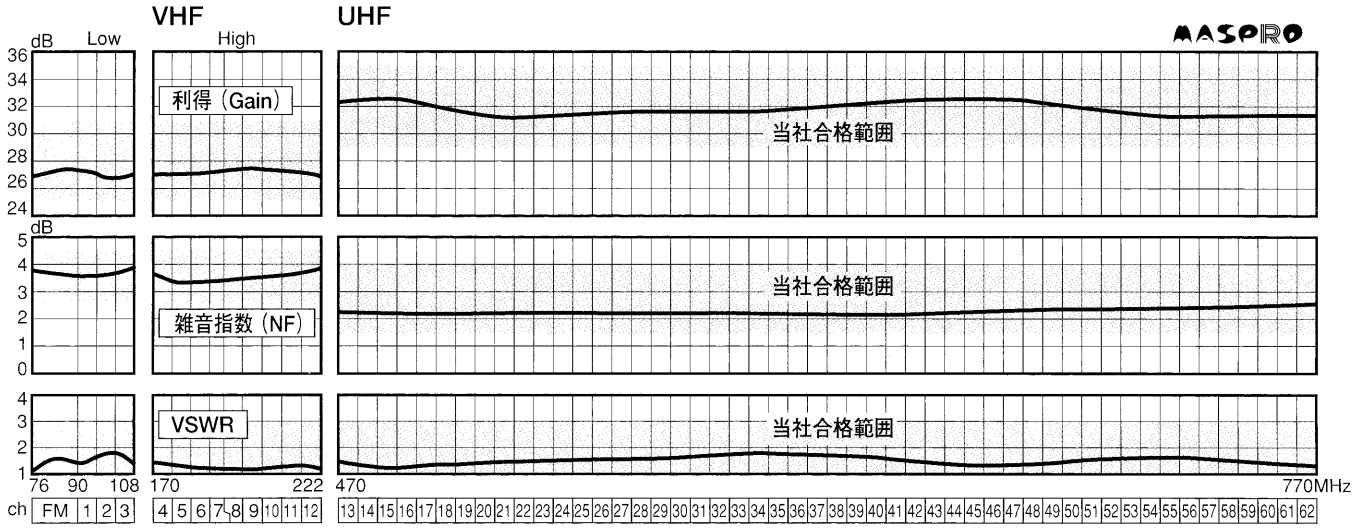
付属品

防水キャップ（大）……3個
〃　（小，VHF入力端子用）…1個
木ネジ（電源部壁面取付用）……2本

意匠登録　第859595号
〃　第933747号

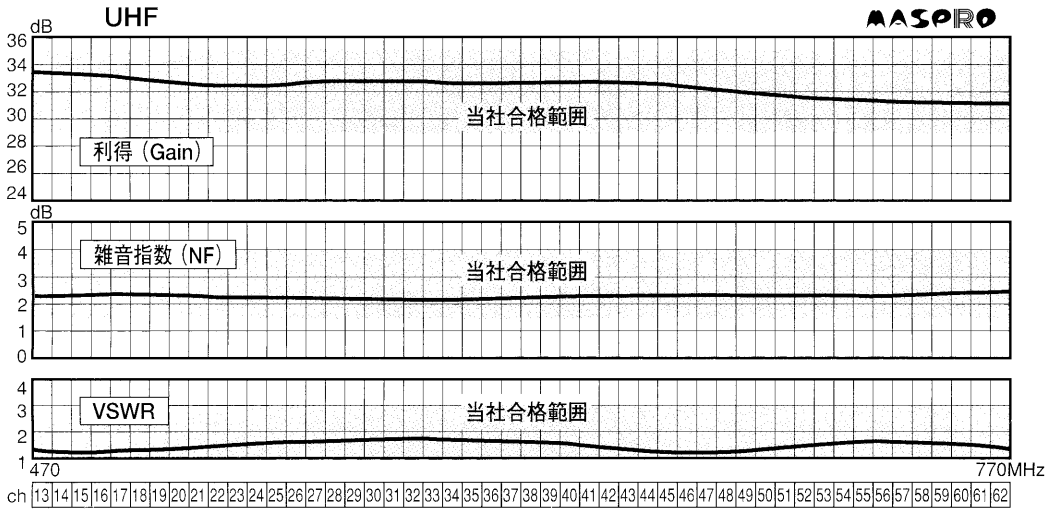
周波数特性 Frequency Characteristics

VUB32



波形は，実測値の一例をそのまま記載したもので，作図はしてありません。

UB32



波形は，実測値の一例をそのまま記載したもので，作図はしてありません。

マスプロの性能表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

ブースターは，正しくお使いください

ブースターを正しく取付けないと，ブースターが発振して，ご自宅やご近所のTVの映りが悪くなることがあります。

- ●入力端子・出力端子の配線は，取扱説明書にしたがって，正しく接続してください。
- ●入力と出力のケーブルは，束ねたりブースターに巻付けたりしないでください。
- ●アンテナマストに取付ける場合，VHF・UHFアンテナとブースター（増幅部）の間隔を1m離してください。

詳しくは，別紙「ブースター使用上のご注意」をお読みください。

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

マルチメディアの
＝マスプロ電工＝

本社〒470-0194（本社専用番号）愛知県日進市浅田町
営業部 TEL名古屋(052)802ー2244
工事営業部 〃 (052)802ー2225
技術相談 〃 (052)805ー3366
インターネットホームページ www.maspro.co.jp

支店・営業所
沖縄 (098) 854-2768
鹿児島 (099) 812-1200
宮崎 (0985) 25-3877
熊本 (096) 381-7626
長崎 (095) 864-6001
福岡(支) (092) 531-3861
北九州 (093) 941-4026
下関 (0832) 55-1130
徳山 (0834) 32-2954
広島 (082) 230-2351
松江 (0852) 21-5341
岡山 (086) 252-5800
松山 (089) 973-5656
高知 (088) 882-0991
高松 (087) 865-3666
姫路 (0792) 34-6669
神戸 (078) 843-3200
大阪(支) (06) 6635-2222
工事営業部 (06) 6632-1144
京都 (075) 646-3800
津 (059) 234-0261
岐阜 (058) 275-0805
名古屋(支) (052) 802-2233
工事営業部 (052) 804-6262
豊橋 (0532) 33-1500
静岡 (054) 283-2220
松本 (0263) 57-4625
福井 (0776) 23-8153
金沢 (076) 249-5301
新潟 (025) 287-3155
横浜 (045) 784-1422
渋谷(支) (03) 3409-5505
工事営業部 (03) 3499-5631
秋葉原 (03) 3255-7335
青戸 (03) 3695-1811
八王子 (0426) 37-1699
千葉 (043) 232-5335
さいたま (048) 663-8000
前橋 (027) 263-3767
水戸 (029) 248-3870
宇都宮 (028) 660-5008
郡山 (024) 952-0095
仙台 (022) 786-5060
盛岡 (019) 641-1681
秋田 (018) 862-7523
青森 (017) 742-4227
函館 (0138) 53-7355
札幌 (011) 782-0711
釧路 (0154) 23-8466
旭川 (0166) 25-3111
北見 (0157) 61-0480

MASter of PROduction
生産の覇者
2K55-398
B-27-4398-3L